

会 議 議 事 録

会 議 名	令和 6 年度 学校関係者評価委員会		
開 催 日 時	令和 6 年 5 月 18 日（土） 10：00 ～ 12：00		
会 場	東京医薬看護専門学校 第 4 校舎 基礎医学実習室		
参 加 者	委員等	7 人	（参加者名） 卒業生代表：加藤 亮 様 業界代表：古川 哲也 様 手塚 平 様 嶋本 智明 様 橋本 敦 様 高校関係者代表：森 章 様 保護者代表：柴崎 由美子 様 東京医薬看護専門学校：学校長 須田 英明 副学校長 石橋 佳子 事務局長 篠田 美和 教務部長 仁村 将大 教務部長 大山 遥 教務部長 堀 延之 キャリアセンター長 福田 昌彦 広報センター長 真田 信 （欠席） 業界代表 1 名、地域代表 1 名
	事務局	8 人	
会 議 録	（1）学校長挨拶（須田） 委員会の皆様におかれましては土曜日にも関わらず、またご多用の中、会議にご参加いただきまして、大変ありがとうございます 5 月病という言葉があるように、学校としては色々なトラブルが起きる時期 2001 年 6 月に国際会議にて自国の評価を行った際に他国の方から 第 3 者評価や外部評価がないと信憑性がないという意見があった これからも地域や社会の信頼を得ていきたい 学校関係者なので外部ではなくアットホームな関係で色々ご指摘お願いします 委員紹介 上記出席者の自己紹介を実施 （2）委員会の目的について（篠田） 2013 年職業実践専門課程が学校教育法に規定 滋慶学園としては 90%以上認定、全国では 40%程度 教育活動の流れを持って質の担保を行っている		

外部や学校関係者の方に評価を頂き、しっかりと情報公開を行っていく
状況の報告もありますが、忌憚ない意見を頂ければと思います
昨年度ご指摘いただいた内容をどう行ったかを報告

- ・高等学校との連携について

従来の訪問に加えオンラインの説明会や学科ごとに招いて説明会を実施

- ・コロナ過による学生へのフォロー

現場実習の早期再開に取り組んだ
コロナ過前の水準に戻す事が出来た
現状 3 割の学生がメンタル的な部分での課題が出ている
オンライン授業の際の出席率は高かったが、引き続き個別支援を行っていく

- ・高い就職率を出す事による本人の納得性はどうか？

キャリアセンターによる月 1 回の就職会議を実施
一人ひとりに合わせた就職支援を行っている
離職率に関しては令和元年からは減少傾向にある (5.8%⇒4.0%)

(3) 2023 年度自己点検・自己評価報告

※自己評価項目・評価基準についての説明

学校関係者評価委員会では大項目に対してご意見の記載
中項目について評価をお願いしたい

1. 教育理念・目的・育成人材像（篠田）

建学の理念：職業人教育を通して社会に貢献する

教育理念：実学教育、人間教育、交際教育

学校の 3 つの教育の柱：専門職業教育・キャリア教育・産学連携教育

2. 学校運営（篠田）

毎年事業計画を作成し職員間で共有を行いながら実行している

他の医療分野の学校と違うのは、総合複合的な学校として連携教育に
取り組みながら、現場に強い人材を育成している

運営方針では本校にしか出来ない学びを展開している

10 職種 12 学科を持つ学校のブランド化を行いながら、
コンプライアンスを強化し、教職員の質の向上にもチャレンジしている

※手塚様が到着されたので自己紹介

3. 教育活動（大山）

キャリア教育ロードマップに基づいたキャリア教育の展開を個々に
合わせて行っている

教育課程編成委員会を年 2 回行いながら業界の意見を取り入れ、
カリキュラムの見直し等を行っている

入学後の導入教育についても見直ししながら、授業アンケートを活用した
講師への FB 等も行っている

最終登校日において全学生への表彰も実施している

4. 学修成果（福田・大山）

2023 年度に関しては卒業生就職率 89.3%、昨年から 5%アップ
就職希望者の就職決定は 100%

専門就職率は 98.8%若干の改善が見受けられる

国家試験に関しては歯科衛生士科、視能訓練士科が合格率 100%

他の学科に関しては未達の学科がある

毎年就労状況アンケートを実施し、卒業生の状況を把握しながら
原因等も確認を行っている

マッチング等を含めた個別のサポートも行っている

（森委員）

離職された方の高校時代の活動調査を行っているか？

（福田）

学内アンケートと評定や欠席等を調べながら行っている

（森委員）

高校の部活も影響があるのでは？

部活で我慢や忍耐の経験も必要かと思う

（仁村）

採用の際に部活動は何か基準はあるか？

（嶋本委員）

学生の回答がフォーマット化しているのでそこは重要視していない

正確性等を見ながら採用活動は行っている

（加藤委員）

部活やアルバイト等は採用面接で聞き、どう活かせるかを重要視している

（堀）

学校のキャリアサポートアンケートでは救急救命士科の学生の
モチベーションが高い、部活の影響もあると思う

5. 学生支援（福田）

5-16-1

就職に関してはマイクロソフト 365 を使いながら企業情報等を
リアルタイムで発信し機会損失がないようにしている

就職指導はビデオオンデマンドでいつでも閲覧可能にしている

就職マニュアルもデータ化しながらいつでもどこでも見えるようにしている

5-17-1

昨年度は中途退学率 5.7%で若干昨年より悪化

課題要因の分類では精神面の課題が多く見られた

高校までの評定が高かった学生も 1 度の躓きで諦める傾向も出ている

座学は大丈夫だが実習へのハードルを高く感じている学生も見受けられる

学生サポートハンドブックを活用し、カウンセリング研修を

全職員対象に実施している

5-19-2、3

学生寮や慶生会クリニックでのサポートを実施
健康診断の受診率や再検査の受診率も 100%

5-21-1

同窓会に関しては実施が出来る学科から行うようにしている
卒業生同士の学年を越えた関係性の構築も行っている

5-21-3

初の委託訓練生を化粧品総合学科で受け入れた

6 教育環境（仁村）

施設設備に関してはコンプライアンスの基準が厳しい中、
しっかりと取り揃えている
今後 3 つの学科で指導調査が行われる予定
避難訓練は学校全体では行わず、学科や学年ごとに実施
学園では危機管理マニュアルを用いて、どの場面でも対応できるよう
マニュアル化している

7. 学生の募集と受け入れ（真田）

専門学校のみならず、大学等の競合も増え入学者数は大きく減少
自校、自学科の強みをしっかりと見せ、商品力も高めていきたい
高校と専門学校の連携の強化をガイダンス以外でも実施していく

8. 財務（篠田）

中長期的な 5 ヶ年の収支予算を立てながら実施している
計画書を理事会、評議会で承認頂いている
社会環境による変化を補正予算で対応
学校の財務に関しては学校 HP 内でもしっかりと公開を行っている

9. 法令順守（福田）

本部内に配置しており、学校関係者と連携
個人情報保護については、教職員全員が「一般社団法人 日本プライバシー認証
機構」の個人情報取り扱い従事者資格を取得
毎年、ITリテラシー理解度テストを全教職員・講師・学生が実施している
学校関係者評価委員会の方の評価も学校 HP にて公開

10. 社会貢献（仁村）

ボランティアに関しては学校にも問い合わせが少しずつ増加
特にマラソン大会での救急救命士、看護師の依頼が増加
言語聴覚士ではセラピールームを通じた地域貢献も積極的に行っている
国際交流の海外研修は 2023 年が中止だったが、2024 年は計画中

学校関係者評価委員の皆様より

(柴崎委員)

職員の熱心さが伝わりました

本人がそれをしっかりと理解し答えられるように伝えていきます

就職に関してもしっかりとアドバイスを頂くように伝えます

(加藤委員)

離職率の中でストレスが1番だったが、2番のプレッシャーに関して、
現場としても対応が難しい、何か良い工夫があれば知りたい

(篠田)

研修や色んな場面で学び取って対応しているが、

教員全体でトライ&エラーを繰り返しながら行っている

(加藤委員)

精神面の退学者の中にプレッシャーはあるか？

(仁村)

毎年学生の持久性が落ちている感は否めない

スモールステップ化し、達成感等を与えている

クラスメイト同士で同じ目標をクリアするのにはあまりプレッシャーは
ないと思われる

(手塚委員)

地方の方はコミュニティがクラスだけだと、折れてしまうとやめてしまう

地域活動のコミュニティも上手く活用して欲しいと思う

そこに関しては協力して行っています

(嶋本委員)

メンタルの課題は学校、企業で起こっているがスクールカウンセラーの
好事例があれば教えて欲しい

(大山)

週2回来ていただき、学生が担任にも告げずに行く場合はあり

担任の方から利用を進めるケースもある

カウンセラーの所で解決ではなく、自身を整理する場と活用している

(福田)

転職に関しての相談等について

2年前本部にJキャリアスクールを設立

色んな講座を立ち上げて、ビデオオンデマンドで学べる

学校求人だけではない求人も活用している

(古川委員)

離職については色んな経験が出来ていなく、それが原因で起こっている
バイトや部活経験がある子の方が現場への馴染みも早い

そういう人ばかりではないので、挫折に対してのフォローはしっかりと
行いながら成長をさせている

現場の方も変えて行くが、学校の方でもそういう経験の場をしっかりと
与えながら、成長の機会を準備して欲しい

高校の進路指導については進路指導の先生の職種理解がまだ浅い場合が

あるので、積極的に訪問等のコミュニケーションを取ってほしい
競合校では通信制の学生が増えてきているので、そこにも手を伸ばしていく
必要があると思う

(森委員)

最初に相談を受けた方がどう答弁するかによって、状況が変わっていく
人に寄り添う事からスタートしているが、鍛える事も重要だと思うので
寄り添うだけではなく、行動が出来る人物をもっと評価して欲しい
生徒だけではなく、職員も鍛えなおす事が必要

(橋本委員)

自己評価表のフォーマットの改正はあるのか？

時代に沿って新しいフォーマットがあれば、もっと学校の評価が
上がると思われる。

- ・退学者の分類で経済面が不安な学生が0だったが、
⇒奨学金や制度の利用でそこまでネックにはなっていない
- ・安否確認はどう行っているか？
⇒アプリの登録をしているのでしっかりと確認が出来る体制を整えている
- ・LGBTの対応
⇒本人からの申し出があり学校からの配慮と合致すれば対応している
- ・女性活躍の割合
⇒分野によって少し変わってくるが、東京医薬看護では7:3で女性が多い
職員登用に関しても進んで行っている
- ・男性の育児休暇取得率
⇒東京医薬看護では半分の事例は取得出来ている、
学園でも積極採用を推進している

(4) お礼の挨拶 (石橋)

色々な頂いたご意見をしっかりと参考にしながら、
2024年度も取り組んでまいります

(5) お礼の挨拶 (須田)

積極的な意見ありがとうございました
頂戴した意見を来年しっかりと報告できるよう準備していきます

以 上